



第四中だより

足立区立第四中学校

校長 五明 早苗

匂いおこせよ梅の花

～気づかなくても花の香はある～

校長 五明 早苗

2月3日は立春です。その前の日の2月2日は節分。節分は季節の分かれ目という意味で、この日は冬と春の分かれ目の日、ということになります。とはいうものの、最近の寒さはとても春とは呼ぶことはできないものです。特に今年はずっと昨年より気温の低い日が続き、春は遠いと感じる日々が続いています。



それでも、春は確実に歩を進めています。開花した梅の花の数は確実に増えてきて、梅の香を楽しむことができます。梅の香で、ある小説の中の「…風に花の香が匂っているが、おまえにわかるか」と男が問うシーンを思い出しました。(小説の中の花の香は梅ではなく、もくせいの花で、季節は秋ですが…)「風には四季それぞれの、違った匂いと肌ざわりがある…」言われた方の青年は「私は風だの花の匂いなんかには用はありません…」というのですが、この言葉を言った男は「おまえは気がつかなくとも」「心をしずめて息を吸えば、おまえにもその花の香が匂うだろう…」と言うのです。

これは山本周五郎さんの「さぶ」という小説の一節で、この言葉は無実の罪で囚われの身となり、自暴自棄じほうじきになっていた青年に向けて発せられた言葉です。この後、この青年は事故にあって大けがをして、周囲の人に助けられたとき、この言葉を思い出します。そして、親切にしてくれた周囲の人たちを改めて見たとき、自分は今まで本当は何も見ていなかったのかもしれないと気づきます。自分は気がつかなくても、興味がなくても、花の香は匂っている。同様に、最悪だと思っていた自分を巡る周囲の状況も、そうではないことに気づいていきます。花の香に気がつかなかったのと同じように周囲の温かさも、自分が気がつかなかっただけだったのではないかと思うようになるのです。この後、この青年は自分のことを心配してくれる人々の存在を実感して成長していきます。

さて、皆さんはどうですか。梅の香は感じられますか。太陽の暖かさを感じることはありますか。皆さんが気づいていなくても、春はすぐそこまで来ています。同じように、皆さんのことを支えたり、見守ってくれたり、応援してくれている人の存在も、気がつかないだけで、周囲にはたくさんあるのかもしれない。見えているのに、気がつかないこと……たとえば、学校で言えば、きれいに掃除された部屋、トイレ、階段。誰かが整備してくれているおかげで快適な生活を送ることができているということは意識しなければ、気がつくものではありません。気がつくためには、心にゆとりをもって自分の身の回りを振り返ってみることが必要です。そうしたら、今まで見えてこなかった景色や花の香や人の優しさを発見することが出来るかもしれません。

2月の予定



- 3日（月）生徒会朝礼・安全指導
心の声
- 4日（火）学年各種委員会
学校運営協議会・開かれた学校づくり協議会
- 5日（水）部活動再登校 16：00～
- 7日（金）スタディ・プラス（2年・3年）
校外学習（1年）
スピーチ大会（夜間学級）
- 10日（月）都内私立一般入試（始）
- 11日（火）建国記念の日
- 12日（水）都立一次・分割前期 願書取り下げ
- 13日（木）令和7年度入学説明会 15：00～
都立一次・分割前期 願書再提出
- 14日（金）百人一首大会（1年）
スタディ・プラス
研究大会（夜間学級）
部活動26日まで停止
東京都公立美術展覧会 始（東京都美術館）
- 18日（火）スタディ・プラス
- 19日（水）東京都公立美術展覧会 終（東京都美術館）
- 21日（金）都立一次・分割前期 学力検査等
学年末考査【音楽・美術・保健体育】（1・2年）
- 23日（日）天皇誕生日
- 24日（月）振替休業日
- 25日（火）学年末考査【技家（1・2年）・国語・数学】
- 26日（水）学年末考査【英語・理科・社会】
あだちからの日
- 27日（木）実力テスト（1・2年）
部活動再開
- 28日（金）スタディ・プラス



東京では、2月は1年中で最も寒いといわれています。

入試や学年末考査など、今までの学習の成果を発揮する大事なときでもあります。体調管理に気を付けて、自分のやるべきことを着実に進めていきましょう。